

病院まつり

2019年10月5日(土)

11時～15時

公立芽室病院が第1回病院まつりを開催します。病院をもっと身近に感じてもらうために、色々な楽しいコーナーを用意してくれています。先生の意外な一面が見られるかも…。私たち支える会もイベントに参加します。バルーンアートとお花を楽しむコーナーにも、ぜひお立ち寄りください！

この日は、図書館まつりも開催されますので、両方楽しみましょう♪



出来上がった作品は
お持ち帰りできます！



会員募集中！

こんな方募集しています！

- ★公立芽室病院を利用している人
- ★公立芽室病院を大切に思う人
- ★お医者さんや看護師さんを応援したい人



入会だけでも、病院の
応援になります！

日頃から公立芽室病院やそこで働く人達に一度聞いてみたかった疑問や言いたいと思っている意見などを持っていながら、なかなか口に出せないでいる声を聞かせてください。支える会の幹事役員がお話をお聞きして、公立芽室病院との意見交換のなかで病院にお伝えします。

<幹事役員名>

鳥本 ヒサ子 片桐 和江 安藤 功 江口 美生男 村上 哲也 尾田 憲子 中村 章
中川 ゆかり 中村 りつ子 本田 景茂 武川 清作 嶋野 奈津美 坂田 恵子

★会 員 数 (9月1日現在)・一般会員 172名 ・団体会員 1団体 ・法人会員 9法人

★年 会 費 1,000円

★問い合わせ ☎ 62-1439 (会長宅) ☎ 62-2516 (事務局)
※公立芽室病院事務局でも入会できます

～編集後記～

子供が小さい頃、入院するような病気にかかりました。病名が早くわかり治療が早かったため、大事には至りませんでした。治療が遅ければ後遺症が残るかもしれない病気でした。心の底から、近くに大きな病院があって良かったと思いました。芽室町で安心して暮らすためには、公立芽室病院はなくてはならないと思います。皆さん、支える会に入って一緒に病院を応援しませんか？(s)

町民向け特別号 令和元年9月発行

公立芽室病院ホームページ内
<https://memuro.com/>

公立芽室病院をみんなで支える会広報

支える会つうしん

病院を支えるのは私たち



～芽室の地域医療を守るには

芽室に暮らす人の力が必要です～

はじめに

「公立芽室病院を支える会」は、2011年に町民有志によって設立された「公立芽室病院を利用する人」「公立芽室病院を大切に思う人」「公立芽室病院スタッフを応援したい人」による地域ボランティアグループです。国や行政だけにまかせずに、一緒に考え、共に学び、意見を交換し、人にやさしい病院づくりに参加してくれる方を必要としています。この時代だからやらなければならないこと、今自分にできることを、私たちと一緒に始めませんか？

ごあいさつ

地方の公立や公的病院では、今までいたお医者さんが突然退職する、診療体制を縮小せざるを得ない・入院患者を受け入れられないなど、深刻な状況に追い込まれております。新しい臨床研修制度の影響で、地域医療に携わる医師不足が慢性化している状況の中、利用する側からの苦情ばかりが耳に入るようでは、誰もやる気がなくなってしまいます。地域医療を取り巻く状況や、今いる先生方の頑張りによって、何とか持ち応えている現状は、広く町の人達に伝えていく必要があります。町が運営する公立の病院を、「あってあたりまえ」と考えるのではなく、「自分たちも一緒になって守ろう」という考えに、地域全体が変わらなければならない時です。私たち住民がなすべきことは、今いるお医者さんを大切に、働きやすい環境、医療に理解ある地域づくりを進めることだと思います。住民、行政、医療、さらには保健や福祉など、さまざまな立場の人たちが互いに知恵を出し合い、力を合わせて地域の医療をつくりあげていくことが急務です。「公立芽室病院をみんなで支える会」は、どうしたら安心して暮らせる保健医療福祉の地域づくりにつながるのかを、皆さんと一緒に考え、行動していきたいと考えております。

公立芽室病院をみんなで支える会
会長 鳥本 ヒサ子



院内ボランティア

インフルエンザ予防接種の受付補助

できることから、はじめませんか？



親睦・交流会

総会の終了後、新任の職員歓迎会をして親睦を深めています。職員と会員とが普段できない話をゆっくりできる貴重な場です。

ロビー活動

病院を利用している方からの「待ち時間が長い」という声に対し、待ち時間を少しでも楽しんでもらおうと、ロビー活動を行っています。小学生の児童書画の作品展の入賞作品を展示したり、地元の子どもの作品などを展示しています。



環境美化

病院周辺の環境整備として花壇の整備をしています。「それならば手伝うことができる」と、植え付けには毎年たくさんの会員が集まります。フラワーマスターの資格を持つ有志の方達が寄せ植えを提供くださって病院の玄関先を賑やかに彩っています。

花壇は入院患者からも好評で、今では病棟から見える位置まで拡大しました。

病院のロビーには生け花を生けるボランティアグループが一年を通して毎週交代で飾り付けをしています。

また、お花を楽しむ会を毎月第3水曜日10時～13時にロビーで開催していますので、ぜひお越しください。



広報・啓発活動

病院の実情を地域の方に知ってもらうために、公立芽室病院の医師による「めむろ地域医療講演会」を毎年開催しています。

また、病院側と定期的に意見交換会を実施し、病院と連携を図っています。

情報を発信する会報として「支える会つうしん」を発行したり、育児中の母親の不安解消になればと、「病院に行くその前に」という冊子の配布なども行っています。



公立芽室病院が進化しています！



公立芽室病院は、より地域と医療の結びつきを強化するため「アクション・プラン 15」を策定し、様々な取り組みを始めています。その一つとして、今年度より経営コンサルタントが導入されたことを皆さまご存知ですか？

コンサルタントとして芽室町にご尽力頂くことになった合谷さんから、町民の皆さまに向けてご挨拶頂きましたのでご紹介いたします。とても気さくでお話ししやすい方でいらっしゃいますので、これからの「対話」を皆さまどうぞ楽しみにしてください。



皆様、初めまして。NPO 法人病院経営支援機構の合谷（ごうや）と申します。合谷という珍しい苗字ですが、出身は福岡県です。たまに「ごうや、って、ゴーヤのニガウリみたいだね」と言われます。にがうりのゴーヤー、で覚えて頂ければ幸いです。

今年度4月から公立芽室病院の経営改善コンサルタントとして、毎月4日間ほど公立芽室病院を訪問させて頂いています。

『コンサルタント』と言いましても、人それぞれイメージされる像が違うと思います。私達のモットーは“ともに汗をかきます”です。一般的な経営改善施策やデータ分析や他病院との比較表の提示だけでは経営改善の実現は厳しいと思っています。地域ニーズや病院使命に沿った施策、地域の風土や歴史・医療資源を考慮した施策、そして勤務される職員のモチベーションに配慮した施策を推進していくことが病院経営改善において重要だと思います。

その[施策]を病院職員と共に推進していく、時にはリードする、時には黒子になることが我々の心掛けるコンサルタント活動です。

そして、[施策]を経営改善に寄与するもの、実行可能なもの、投資効果に見合うもの、にする為に大切にしているのは“対話”です。対話を通じて、相互理解を深め、信頼関係を醸成し、経営改善を推進して参ります。相互理解を深めることで地に足を付けた改善へと繋がると信じています。

町民の皆様と“対話”をする機会を頂ければ嬉しく存じますし、そのような機会を作っていきたいと思っています。その時は、どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

最後に、私事ですが、趣味はジョギングです。高校・大学・社会人とずっとラグビーをやっていましたが、年齢と共に怪我が怖くなり、今はジョギングをやっています。おかげで体重82kg→67kgへとなり、健康診断結果も良好になりました。芽室町に宿泊した朝、芽室町をジョギングするのは楽しみの1つです。

このような者ですが、どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

